

やお市議会だより

vol.328



特集 高校生の目線で市議会に提案
～高校生と議会をつなぐ未来会議 2024～

未来会議レポート

八尾市議会では、これまで「市議会×高校生プロジェクト」として高校生との座談会の実施など、若い世代との交流を通じて議会をより身近に感じてもらう取り組みを行ってきました。コロナ禍を経て、今回「高校生と議会をつなぐ未来会議2024」と題して、市内5校の高校生と議会だより編集委員会の議員が意見交換を行いました。

最初は少し硬い表情でしたが、意見交換が進むうちに笑顔がたくさん見られ、議員や他校の生徒との交流が進み、楽しい雰囲気の中でたくさんの意見を出し合いました。

発表の際には、議場という緊張が高まる場所にも関わらず、堂々とグループの意見を説明していただきました。

当日のプログラム

- 01 アイスブレイク
自己紹介、クイズ
- 02 グループディスカッション
・議会だよりについて
- 03 グループディスカッション
・まちづくりについて
- 04 発表
- 05 記念撮影、フリートーク



02 グループディスカッション

「思わず見ちゃう議会だより」

高校生の意見

- ・表紙をアーティスト写真やマンガ・イラストにすると目に留まる。
- ・字を大きくし、縦書き横書きを統一すると読みやすくなる。
- ・高校生が作るページを連載することで、若い世代の関心が高まる。
- ・内容をできるだけ要約し、読み飽きないページ数に変更する。
- ・学生限定付録や八尾で使えるクーポンが付いていたら面白い。



03 グループディスカッション

「八尾にこんなあったらいいな」

高校生の意見

- ・高校の交流機会を増やして、様々なつながりを持ちたい。
- ・異なる世代、外国人との交流が増えると親交や理解が深まる。
- ・公園でボール遊びができ、トイレやごみ箱が清潔だと人が集う。
- ・自転車専用レーン、防犯カメラの増設により安全なまちになる。
- ・近くに自習室があれば、効率的に勉強でき学力が向上する。



高校生と議会をつなぐ未来会議2024

議会だより編集委員会

×

金光八尾高校／八尾高校

八尾北高校／八尾翠翔高校／山本高校



PICKUP
03

八尾市総合計画の後期基本計画を策定

令和3年2月に策定された、八尾市第6次総合計画前期基本計画（令和3年度から令和6年度）において取り組みを推進してきた成果と課題等を踏まえ、後期基本計画（令和7年度から令和10年度）を策定する議案を可決しました。

なお、本件の可決を受け、「八尾市総合計画後期基本計画を定める件」に対する附帯決議案が提出され、賛成多数で可決しました。



議員からの質疑を
ちょっとだけ紹介

Q 支援につながりにくい子ども・若者に対して、アウトリーチを通じた支援を進めるという文言が追加されているがどのように進めていくのか。

A 前期計画においては電話相談から面談につなげることを行ってきたが、後期計画では、複雑・複合的な課題を抱え孤立してしまう方に対し、地域団体など多様な関係機関と連携し訪問支援を行っていく。

Q 八尾空港西側跡地に関して、市の南部エリアの活性化という文言が追加されているがどのような内容か。

A 現在、関係者と土地活用に向けた検討を進めており、八尾空港周辺を含めた駅前を拠点とするまちづくりの方向性の検討を行っていく。

議会活動の記録

本会議 (11月29日、12月2日、3日、19日)	予算決算常任委員会（全体会） (12月16日、19日)
議会運営委員会 (11月14日、19日、29日、12月18日、19日)	予算決算常任委員会（理事会） (11月19日、12月13日、18日、19日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会（総務分科会） (12月11日、19日)	各派代表者会議 (11月14日、12月18日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会（建設産業分科会） (12月9日)	議会だより編集委員会 (11月21日、29日、12月16日、25日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会（文教分科会） (12月10日)	意見書調整会議、幹事長会議 (12月17日)
健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会） (12月6日)	

12

令和6年
12月定例会

総合計画の後期基本計画策定など 24件の議案等を詳しく審査

令和6年12月定例会は、11月29日から12月19日まで開会しました。1日目から3日目にかけて、市政全般について個人質問を行いました。また、補正予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査し、12月19日の本会議で討論の後、市長が提案した全ての議案を可決しました。

また、12月19日の本会議において職員給与に関する条例の一部改正の追加議案等が提出され、所管の委員会で審査した後、同日の本会議で可決しました。

▶個人質問は6～9ページ、委員会審査の概要は10～11ページ、議決結果は14～15ページに掲載

市議会はココに注目！

PICKUP
01

印鑑の登録事項と印鑑登録証明書 性別部分を削除

性同一性障害、性的指向及び性自認に配慮し、印鑑の登録事項及び印鑑登録証明書から性別に関する事項を削除するため、八尾市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正しました。



PICKUP
02

ボランティアセンターを 社会福祉会館へ移設

現在、サポートやおにあるボランティアセンターを、社会福祉会館の2階へ移設するため、その修繕に係る経費を増額する補正予算を可決しました。





QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

3日間12人の

R6
12
月定例会

個人質問

個人質問とは

八尾市の市政全般について、市民の代表として議員が市に対して説明を求めることや疑問について聞くことをいいます。

八尾市議会では、答弁を含まずひとり30分の持ち時間となっています。



大阪維新の会
稲森 洋樹



偏向報道をさせない
情報発信施策の強化

Q テレビ、新聞の偏向報道特性を踏まえ、正しい行政情報を発信するため、全庁的、一元的な取材対応が求められると考えるが市の見解は。

A 不意の取材に対するリスク管理、切り取り報道への対応を含め、見直しをかけていきたい。

Q 市民が市の公式見解等の一次情報にアクセスでき、知る権利に対応できるよう、記者会見映像等を市公式YouTubeチャンネルで公開すべきと考えるがどうか。

A 次期市政運営方針及び当初予算の記者会見に向け、早急に対応を検討したい。

Q 市の中心部から遠い地域において、期日前投票実施の需要は高い。民間商業施設で実施する際の課題は。

A 二重投票防止のためのオンライン設備や急な選挙等、全ての選挙で施設を使用できるかなど、費用面や従事する職員体制等が課題であると考えます。



公明党
五百井 真一



誰もが安心して
暮らせる体制整備を

Q 認知症の方やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活していくため、認知症施策を推進することが重要である。市として認知症施策推進計画の策定をどう検討しているのか。

A 国が示す計画の内容については、おおむね第9期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に盛り込んでいる。今後、次期計画の策定に合わせ、一体的に認知症施策推進計画の策定に取り組む予定である。

Q 複合化・複雑化した課題を抱える市民を支援するための重層的支援体制整備事業について、今後の展開や制度の拡充に関する見解は。

A 住宅確保要配慮者への居住支援などを進めていく。さらに、今後也包括的な相談支援体制を維持できるよう、分野横断的な連携や複合的な役割・機能を果たす体制の強化に取り組んでいく。

その他の質問項目
●投票しやすい環境整備の方向性

大阪維新の会
鑄方 淳治



避難所の環境改善に
向けた取り組みを

Q TKB48を普及促進するため、備蓄拠点を大幅に増設するなどプッシュ型支援強化を図る国の動きがあるが、市の見解は。また、酷暑期の避難所における暑熱対策として、スポットクーラーの分離使用など、設置方法を工夫すべきだがどうか。

A 国の防災・減災対策の動向を注視し、導入の可否を含め検討する。スポットクーラーの設置手法については、仕様や体育館の構造等を確認しながら検討していく。

Q 町会が解散した地域の安全を担保するために、町会に代わり防犯灯を維持管理していく仕組みを構築すべきだがどうか。

A 持続可能な防犯灯の仕組みづくりに向け、他市事例も参考とし、地域の意見を聞きながら検討する。

TKB48とは

避難所の二次健康被害ゼロを目指し、T（トイレ）K（キッチン）B（ベッド）を48時間以内に設置し、被災者が安心して滞在できる環境を確保すること。

日本共産党
越智 妙子



学校給食の恒久的な
無償化を早急に！

Q 学校給食の恒久的無償化に踏み切るべきだがどうか。

A 財源確保に最大限の努力が必要であり、国の動向を注視しながら財政状況を鑑みて検討していく。

Q 小学校の給食数はピーク時に比べ2万食分減少しており、中学校分も調理できるのではと考える。中学校での必要給食数は。

A 約6600食を調理している。

Q マイナ保険証の利用においては、いまだにトラブルも多く、全国的にも利用率が低い。現行の保険証を残すよう国に声を上げるべきだがどうか。

A トラブル発生時の対応方法の周知徹底など、市長会を通じて国に要望している。

Q 現行の保険証が有効期限まで使用できること、期限が切れた後は資格確認書が自動的に交付されることなど、医療機関等と連携しながら早急に周知すべきだがどうか。

A 様々な広報媒体を活用しながら分かりやすく丁寧な広報に努める。

公明党
前園 正昭



教育と文化の予算は
人と未来を創る予算

Q ディスレクシアの疑いのある児童・生徒を早期療育につなげる必要があると考えるが、市の認識は。

A 学校では校内支援委員会等を中心とした全校的な支援体制により、児童・生徒の実態を早期に、適切に把握し、教育委員会では医療機関や専門機関と連携しながら支援に努めていく。

Q 芸術文化による交流基盤である「やおうえるかむコンズ」の取り組みについて、どのような成果が現れているか。

A コモンズの形成主体である人・場所・活動がつながること、芸術文化を活性化させる取り組みを進めており、人々が笑顔で集える場が広がっている。

ディスレクシアとは

学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な知的発達に遅れはないが、文字の読み書きに限定した困難がある障害。そのことで学習が遅れ、自信を失い、意欲低下や心身の不調につながることもある。

八尾保守の会
川上 舞



不正な投票の防止へ
より効果的な対策を

Q 全国的になりすまし投票（詐偽投票）について数多く報道されているが、本市においてはどうか。

A 投票所の受付において、生年月日等の確認で本人かどうか疑わしい場合は、本人確認書類の提示をお願いするなど、しっかりと本人確認を行っている。

Q なりすまし投票等の不正な投票に対して予防策はとっているのか。

A 入場整理券に、投票の際には、必ず本人の整理券を持参していただくよう記載している。また、投票所内に、なりすまし投票等を行った場合、処罰の対象となる旨の貼り紙を掲示するなど、投票人に対する注意喚起を行っている。



一人一人の意思を反映させる機会である選挙には、適正な執行が求められる。

その他の質問項目

●地域防災の共助の充実を図るための地域との連携



QRコードから、各議員の質問の映像を見ることが出来ます。

個人質問



公明党
福永美智子



アピアランスケア
助成制度の創設を

Q がん患者の負担軽減につながるアピアランスケアのさらなる周知・啓発を実施するとともに、助成制度を創設すべきと考えますがどうか。

A ホームページの内容の充実をはじめ、地域の医療機関と連携を図りながらアピアランスケアを含め、がんに関する情報の発信に早期に取り組み。助成制度については、がん相談支援センターと連携しながら検討を進める。

Q 市民の安心、地域防災力の強化、自治体間の相互支援等につながるトイレトレーラーを導入すべきかどうか。

A 避難所におけるトイレ環境は災害関連死を防ぐ上で重要であるとして認識しており、国の動向を注視しながら、他市事例も研究していく。

その他の質問項目

- ギャンブル等依存症対策
- 若年層に広がるオンラインカジノ等の危険性の周知・啓発
- 関係機関、自助グループ等と連携した支援の強化



日本共産党
田中裕子



ガイドラインに沿った
保育虐待への対応を

Q 国のガイドラインでは、保育所等において虐待等が行われたと判断した場合、十分な心のケア・保護者に対する丁寧な説明・虐待事案の公表等が必要であると記載されているが、それに沿った対応はできているのか。

A 全保護者対象の説明会を行うよう働きかけているが、実施については園の判断となる。臨床心理士の派遣について現時点では予定していないが、こども総合支援センターで対応したい。また、虐待事案の公表は通常保育への影響も懸念されるため、現時点では考えていない。

Q 虐待の事実が確認された音声データが録音された日の、園内の防犯カメラ映像データが無いと関係者から聞いたが、事実か。

A 現在指導を行っている詳細の確認をしている状況のため答えられない。

その他の質問項目

- 障がい児の通学支援
- 保育所入所選考時の療育施設に関する加算点の必要性



八尾の未来を紡ぐ会
西川あり



セーフガーディング
考え方の周知は

Q 日本版DBSに関する法整備が進んだが、市のセーフガーディングに対する考え方はどうか。

A セーフガーディングについて、まずは知っていたことが重要であり、子どもの居場所づくり連絡会議などで考え方を紹介していく。また、基準の作成や取り組みについても研究していく。

Q CAP（子どもへの暴力防止プログラム）の成果はどうか。

A 子どもへの自己肯定感や自身を守るスキルを向上させるだけでなく、地域の方など第三者の視点が入ること、より具体的な子どもの心の声を聴き取り、いじめや虐待の早期発見につながっていると認識している。

DBSとは

子どもに接する仕事に就く人に対して、性犯罪歴を照会することが義務付けられる制度のこと。

セーフガーディングとは

虐待や搾取など子どもの権利に反する行為や危険を防止する安全保護の取り組みのこと。



無所属
露原行隆



ほこみち制度の活用
地域経済の活性化を

Q 中心市街地の車線の一部を規制し、道路空間を店舗や子どもたちの遊び場などに活用するなど、各自治体が町のにぎわいづくりに知恵を絞っている。国が推進する「ほこみち制度」を活用し、市民や事業者とともに魅力ある都市空間を創造することに意義があると考えられているか。

A 歩行者の利便増進を図り、快適な生活空間の確保と地域活力の創造に資する道路を指定することは、まちのにぎわいを創出し、地域経済の活性化に寄与するものと考えている。また、市民や事業者とともに取り組みを進めていくことで、協働のまちづくりの観点からも意義があると認識している。

ほこみち制度とは

歩行者利便増進道路制度の愛称で、にぎわいのある道路空間創出のための道路を指定する制度のこと。

道路管理者が、歩道の中に歩行者の利便増進を図る空間を定めることで、多様な道路空間の活用が可能となる。

おしえて 議会のコトバ

Q

附帯決議 ってなに？



A

予算や条例などの議案に対して執行上の要望や執行に当たっての希望条件等を意思としてまとめたものです。

法的な拘束力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

本会議で議案質疑がありました

議案質疑とは…

提案された議案に対し、内容や提案理由等について疑問や不明な点を問うことをいいます。

11月29日 日本共産党 田中 裕子
議案第87号「八尾市水道事業の設置等に関する条例等の廃止等の件」

QRコードから、本会議の映像を見ることができます。



ちなみに

12月市議会定例会においては、以下の附帯決議案が提出されました。

- ◆議案第80号「八尾市総合計画後期基本計画を定める件」に対する附帯決議の件
- ◆議案第88号「令和6年度八尾市一般会計第6号補正予算の件」に対する附帯決議の件



提出された議案の内容や結果の一覧はホームページをご覧ください。→→→



八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉



部局の垣根を超えた
生活困難者支援を

Q 本市の狂犬病予防接種の接種率は全国的に見ても低く、免疫学上狂犬病の蔓延を防ぐ事が出来るとされている「接種率70%以上」を達成する対策を講じるべきと考えられているか。

A 毎年、接種率70%以上を達成することを目標に、接種率向上に積極的に努めていく。

Q 医療的ケア児等コーディネーターの未配置など、立ち遅れている取り組みについて、支援体制を構築すべきと考えられているか。

A 現在、医療的ケア児等コーディネーターの配置に至っていないのは事実であり、支援体制の強化について早急かつ積極的に取り組みを進めていく。

Q パーソナル・サポート事業については、部局の垣根を越え、ワンストップの支援体制を構築すべきと考えるかどうか。

A 市民が利用しやすい、効果的な事業運営について、部局連携を図り、検討を進めていく。



大阪維新の会
松本 剛



危機感を持った
事務事業の見直しを

Q 財政状況の悪化を危機感を持って受け止め、物価高騰対策をはじめとした市民ニーズに応える事業を行う財源を確保するため、早急に抜本的な対策を講じる必要があると考えられているか。

A 非常に厳しい財政状況にあることから、事業費の増加に対しては既存事業の見直し等による財源捻出に取り組んでいる。

Q 市の魅力増進に向け、新たな事業を行う際に、既存事業のスクラップを行う余地はあるのか。

A 見直しを行うことなく依然として続いている事業があると考えており、他市比較等も行いながら、今後も本市を発展させていくため、効率的に新たな事業に取り組んでいくための財源をしっかりと確保することが必要と考える。

その他の質問項目

- 全職員が危機感と責任感を持って業務を担うための今後の人事行政

委員会 で 詳しく 審査

議会がしっかり チェック

総務 常任委員会・分科会

救急搬送の多くを占める軽症者 救急車の適正利用への方策は？

Q 令和5年中の救急搬送は1万8千件を超えており、その約7割が軽症者であった。必要度の高い重症者が利用できるよう、救急車の適正利用を促す必要があると考えるがどうか。

A 救急車の適正利用について、これまでも啓発・広報を行ってきたが、令和6年12月に開始したSNSも活用し、より幅広い市民に訴えかけていく。また、救急車を呼ぶか迷う時には、大阪府が運営する「救急安心センターおおさか」の利用を広報し

ており、そこで救急医療相談を行い、緊急性を判断してもらいうことにより、不要不急の出動の減少につながるかと考える。

Q 広報以外に適正利用に向けて検討している方策はあるか。

A 軽症者の救急搬送の有料化を実施している自治体もあり、今後、有料化の実証実験が行われた際には調査研究を行い、適正に検討していきたい。



緊急性の高い傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるよう、救急車の適時・適切な利用が必要となる。

委員会で審査した議案

- 八尾市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正の件
- 八尾市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正の件

その他議案3件

分科会で審査した議案

- 八尾市総合計画後期基本計画を定める件（所管分）

その他議案5件

建設産業 常任委員会・分科会

市営住宅等の指定管理者選定 サービス向上の取り組みは？

Q 令和7年度から市営住宅等の指定管理者が変わるが、入居者サービス向上のため、新たにどのような取り組みを計画しているのか。

A 入居者の高齢化に対応するため、安全確認ができるドアセンサーシステムの導入や、入居者や地域住民が交流を図り、つながり支え合うための拠点を設け、必要に応じて適切な相談機関につなげるなど、地域の課題に対応した取り組みを計画している。

Q 国登録有形文化財木村家住宅の所有者から有形文化財、金銭、不動産の寄附を受けるとのことだが、寄附者の意向を受け、今後どのように活用していくのか。

A 八尾の伝統と文化を守るため、木村家住宅に新たな価値をつけて未来につなげたいという寄附者の意向を踏まえ、多くの方に八尾の伝統産業や歴史に触れていただけるように、また、他の文化施設などと連携を図りながら、にぎわいづくりの拠点となるように整備をしていく。



木村家住宅は江戸後期から明治後期にかけて河内木綿商の屋敷として建築され、令和3年6月に国登録有形文化財となった。

委員会で審査した議案

- 八尾市水道事業の設置等に関する条例等の廃止等の件
- 八尾市営住宅等の指定管理者指定の件

その他議案2件

分科会で審査した議案

- 八尾市総合計画後期基本計画を定める件（所管分）

その他議案1件

文教 常任委員会・分科会

生涯学習センターにおける 健康増進事業の継続は？

Q 生涯学習センター内の健康増進コーナーとしてのスタジオについて、令和6年9月市議会定例会において廃止されることが決まったが、スタジオが廃止される令和7年10月以降の健康増進事業に対する検討はどのような状況か。

A スタジオ講師の方を対象とした説明会を行い、15名の方からスタジオ廃止後もセンター内の他の部屋を活用し、健康増進事業を継続していきたいという意向を確認した。

Q 現在実施されている健康増進プログラムは継続されていくのか。

A 活用する部屋の選定や、実施内容について、現在、講師及び指定管理者と具体的なヒアリングを行っている。健康増進事業の必要性は今後も変わらないため、令和7年10月以降についても継続して取り組んでいく。



市民の健康増進のため、スタジオ廃止後における事業継続の手法を検討していく。

委員会で審査した議案・請願

- 八尾市生涯学習センターの指定管理者指定の期間変更の件
- 八尾市から保育虐待をなくすことを求める請願の件

その他請願1件

分科会で審査した議案

- 八尾市総合計画後期基本計画を定める件（所管分）

その他議案1件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

公有地の売却先候補者選定 その経過は？

Q 八尾市立養護老人ホーム及び八尾市在宅福祉サービスネットワークセンターの売却にあたり、広く募集をかけるためにも、公募期間3か月は短いと考えるが、市の見解は。

A 参考とした指定管理者の公募期間が通常約2か月であるが、委員会での指摘を受け、3か月とした。説明会の実施や実際に施設見学などにより、修繕の必要性も一定理解いただいており、適正な期間であったと考えるが、今後については、今回の件を検証した上で、適宜対応していく。

Q 応募が1団体しかなかったことについて、市の見解は。

A 本市が必須とした事業の継続や施設の老朽化に伴う補修に相当な費用が見込まれることなどから、結果的に1団体の応募となったと認識している。

Q 市直営から民間の運営に移ることによる市民への影響は。

A これまでも指定管理者として、しっかり運営いただいており、運営権移行後も、これまでと変わりなく事業を継続いただけるものと考えている。



令和7年4月から八尾市立養護老人ホーム及び八尾市在宅福祉サービスネットワークセンターが民営化される。

委員会で審査した議案

- 建物の売払いの件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第6号補正予算の件（所管分）
- 八尾市総合計画後期基本計画を定める件（所管分）

その他議案2件



常任委員会は、所管事務調査を実施して、市民生活に深く関わる課題について、先進都市への視察を含めた調査・研究を行っています。

視察の内容も生かしながら、今後の市政に反映していきます。

ホームページにはこれまでの所管事務調査の報告や市長からの処理経過と結果の報告を掲載しています。→→→



文教常任委員会

調査テーマ ・不登校対策について
・産後ケアについて

▷静岡県静岡市

不登校対応研修プログラムや訪問教育相談員配置の効果、サポートルームの活用やICTの利活用など、総合的な不登校対策について学びました。

▷静岡県三島市

アウトリーチ型の産後ケア事業の内容や利用者の声、「みしまめっこオンライン事業」の概要や啓発方法について、視察を行いました。



子どもや保護者の孤立感を解消するために訪問教育相談員事業を実施している。(静岡市)

委員長からのコメント

不登校対応では、教員や支援者側の対人援助のスキルを上げることで信頼関係を構築し、児童・生徒が安心できる人、場所が増えることにつながっていくと思いました。

産後ケア事業では、1歳未満まで利用できる制度が本市にできるのか調査を進めていきたいです。



三島市での視察

健康福祉環境常任委員会

調査テーマ ・ごみ減量・環境負荷軽減の取り組みについて
・健康寿命の延伸について（健康課題解決に向けた取り組みについて）

▷神奈川県座間市

サーキュラー・エコノミー推進に係る連携と協力に関する協定締結の経緯や効果、ごみ減量の取り組みにおける市民や販売事業者等との協力体制について視察しました。

▷静岡県浜松市

「浜松ウェルネスプロジェクト」の概要や健康ビッグデータの分析に基づく健康課題への対策、庁内及び庁外連携の取り組みについて学びました。



小田急電鉄と連携し塵芥収集支援システムによるDX収集を行っている。(座間市)

委員長からのコメント

視察先では、民間事業者の知見と協力を活かした先進的施策が印象的でした。

八尾市も行政資源を効率活用し、市民サービス向上と公共の福祉を増進すべく、委員会提言へ反映して参ります。



浜松市での視察

CHECK! 議会の提案が市政を動かす

常任委員会の所管事務調査

調査テーマに基づき、先進都市を視察

先進事例と市の課題を研究し、施策提言につなげます

総務常任委員会

調査テーマ 少子高齢・人口減少社会を見据えたコミュニティづくりについて

▷東京都立川市

大山自治会における町会加入率100%の取り組みをはじめ、町会の負担軽減、活動の見直し及び活性化に向けた取り組みのこれまでの実績や課題などについて学びました。

▷東京都日野市

市民有志が企画運営に携わる自治会交流会の取り組みや従来の町会・自治会によらない新たな仕組みづくりについて、視察を行いました。



自治会等を応援する条例を制定し、安全・安心で住みよい地域社会の形成を目指している。(立川市)

委員長からのコメント

全国的に町会活動の持続可能性が危惧される中、その課題解決には、町会自らが運営や活動の見直しに取り組むだけでなく、自治体における町会への依頼事項の削減など、各種の見直しが必要であると感じました。



日野市での視察

建設産業常任委員会

調査テーマ 地域公共交通の課題解消に向けた取り組みについて

▷東京都葛飾区

グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通の実証運行について、導入経緯や本格運行に向けた今後の課題などについて学びました。

▷東京都三鷹市

AIデマンド交通の導入経緯や小型EV車両を活用した実証運行の内容、オープンデータ化による交通サービス同士の連携強化について、視察を行いました。



グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通の実証運行を行っている。(葛飾区)

委員長からのコメント

地域と行政の連携により運行しているグリーンスローモビリティ、利用者の利便性をより追求したAIデマンド交通は良い取り組みだと思いました。

地域課題に応じた交通手段の模索や福祉部局との連携の可能性など、移動が困難な交通弱者の支援につながる委員会提言をして参ります。



三鷹市での視察

請願

国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択

八尾市から保育虐待をなくすことを求める請願の件

〔請願項目〕
・保育虐待等の不適切事案を二度と発生させないよう、保育の質を確保向上させるために保育施設に対する指導監査体制の抜本的拡充を行うとともに、指導監査時に利用者アンケートを実施し、不正や不適切な対応の発見に役立てること。
他 2 項目

不採択

子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の充実を求める請願の件

〔請願項目〕
・保育園等で働く職員を確保する為の補助金を増やしてください。
他 4 項目

3月定例会の予定																																					
【2月】		10日(月)	議会運営委員会			【3月】		27日(木)	本会議(代表質問)			26日(水)	本会議(代表質問)			21日(金)	本会議(市政運営方針・議案説明)			13日(木)	議会運営委員会			10日(月)	議会運営委員会												
27日(木)	本会議(議案採決)	26日(水)	議会運営委員会	24日(月)	予算決算常任委員会(全体会)	18日(火)	予算決算常任委員会(総務分科会)	17日(火)	総務常任委員会	14日(金)	建設産業常任委員会(建設産業分科会)	13日(木)	建設産業常任委員会	12日(水)	健康福祉環境常任委員会(健康福祉環境分科会)	11日(火)	健康福祉環境常任委員会	10日(月)	文教常任委員会(文教分科会)	7日(金)	文教常任委員会	5日(水)	本会議「予備日」	4日(火)	本会議「予備日」	3日(月)	本会議(個人質問)	27日(木)	本会議(代表質問)	26日(水)	本会議(代表質問)	21日(金)	本会議(市政運営方針・議案説明)	13日(木)	議会運営委員会	10日(月)	議会運営委員会

議会 Topics

全国各地より八尾市へ行政視察にお越しいただきました

10月24日	愛知県犬山市 民生文教委員会	「重層的支援体制整備事業について」 「部活動の地域移行の取り組みについて」
10月25日	長野県中野市 民生環境委員会	「重層的支援体制整備事業について」 「つなげる支援室について」
	愛知県弥富市 総務建設委員会	「中小企業地域経済振興基本条例について」 「みせるばやおについて」
10月30日	茨城県水戸市 文教福祉委員会	「八尾市版重層的支援体制整備事業について」
10月31日	愛知県碧南市 議会基本条例推進特別委員会	「市議会×高校生プロジェクトについて」
11月 6日	埼玉県久喜市 福祉健康常任委員会 福岡県小郡市 総務文教常任委員会	「重層的支援体制整備事業について」 「不登校等対策支援事業について」
11月 7日	愛知県豊田市 議会運営委員会	「議会だよりについて」
11月13日	岐阜県郡上市 広報広聴特別委員会	「議会だよりについて」

令和6年12月定例会 本会議 議決結果

○賛成 ×反対 ー退場 （請願は○採択 ×不採択）

賛否が分かれた議案等

件名	議決結果	大阪維新の会	公明党	八尾の未来を紡ぐ会	八尾保守の会	日本共産党	新声	会派に所属しない議員
景山 和香、木村 健二、稲森 洋樹、鐺方 淳治、松本 剛、坂本 尚之、樹井 政佐、田中 慎二、奥田 信宏								
福永美智子、南方 武、五百井真二、前園 正昭、西田 尚美								
柴谷 匡哉、西川 あり、吉村 拓哉								
川上 舞、松田 憲幸、田中 久夫								
田中 越智、裕子 妙子								
山中 孝史、宏 露原、行隆								
八尾市総合計画後期基本計画を定める件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
建物の売払いの件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
八尾市下水道条例の一部改正の件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
八尾市水道事業の設置等に関する条例等の廃止等の件〔反対1〕〔※1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
令和6年度八尾市一般会計第6号補正予算の件〔賛成1〕〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
令和6年度八尾市国民健康保険事業特別会計第1号補正予算の件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
令和6年度八尾市介護保険事業特別会計第1号補正予算の件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
八尾市営住宅等の指定管理者指定の件〔反対1〕	可決	○	○	○	○	×	○	○
刑部小学校給食調理場改築に伴う機械設備工事の工事請負契約締結の件	可決	○	○	○	○	ー	○	○
八尾市から保育虐待をなくすことを求める請願の件〔※2〕	不採択	×	×	×	×	○	×	×
子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の充実を求める請願の件〔採択1〕	不採択	×	×	×	×	○	×	×
議案第80号「八尾市総合計画後期基本計画を定める件」に対する附帯決議の件	可決	×	○	○	○	○	×	○
議案第88号「令和6年度八尾市一般会計第6号補正予算の件」に対する附帯決議の件	否決	○	×	○	×	×	×	×

◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。木村健二議員は欠席。
〔※1〕は特別多数議決の案件のため、議長にも表決権あり。
〔※2〕採択1、不採択1、項目1及び3不採択・項目2採択1

全会一致の議案等

件名	議決結果	件名	議決結果
八尾市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正の件	可決	令和6年度八尾市一般会計第7号補正予算の件〔※1〕	可決
八尾市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正の件	可決	令和6年度八尾市国民健康保険事業特別会計第2号補正予算の件〔※1〕	可決
八尾市職員の退職手当に関する条例の一部改正の件	可決	令和6年度八尾市介護保険事業特別会計第2号補正予算の件〔※1〕	可決
八尾市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正の件	可決	令和6年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計第1号補正予算の件〔※1〕	可決
八尾市生涯学習センターの指定管理者指定の期間変更の件	可決	八尾市固定資産評価審査委員会委員を選任するについて同意を求める件（井川真理子氏）	同意
八尾市職員給与条例及び八尾市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正の件〔※1〕	可決		

◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。木村健二議員は欠席。
〔※1〕採決の際、南方武議員は不在。

高校生×八尾市議会

高校生と議会をつなぐ未来会議 2024

グループディスカッションでは各グループで活発な意見交換が行われ、高校生の目線での貴重な意見をたくさん聞くことができました。各グループの提案の一部を紹介します。

GROUP A



現況・改善点・提案という視点から、意見を出し合いました。

- ・高校交流や各校のクラブ紹介イベント
- ・広い公園やみんなが集まれる場所を増やす
- ・道路の舗装やカーブミラーを見やすく
- ・防犯灯を増やしてもっと安全なまちに
- ・学校以外で活躍する場があったらいいな
- ・音楽スタジオやスポーツ施設がほしい

GROUP B

高校交流とまちづくりの2ジャンルに絞った意見を出し合いました。

- ・高校対抗のイベントや他校1日体験
- ・体育祭等の土日開催など他校と交流
- ・八尾市名産歯ブラシで歯磨き大会
- ・自習室たくさんあったらいいな
- ・ボール遊びができる子ども向け施設を増やす
- ・八尾の食べ物をもっと食べたい



GROUP C



交流・イベント・施設・健康・安全の5ジャンルについて意見を出し合いました。

- ・小中高生向けの職業体験会
- ・多世代や外国人との交流イベント
- ・どろんこまつり
- ・公園トイレのリニューアル
- ・防犯カメラや自転車レーンを増やす
- ・市営の難病支援センターの設置

高校生からの感想

- ・議員のみなさんだけでなく他校の人と交流できたことで、とてもいい機会となった。
- ・議員＝堅いというイメージがあったが、実際に会うと気さくで面白く、印象がガラッと変わった。
- ・座談会をきっかけに自分の住むまちへの関心が高まり、自分の一票をどの人に託すかをよく考え、絶対に投票に行きたいと思う。



編集後記

議会だより編集委員と市内高校生による座談会へご参加いただきありがとうございました。これからの社会を担う若い世代の意見を聞くことができ、大変貴重な時間となりました。

議会だより編集委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎ 松田 憲幸 ○ 山中 宏
木村 健二 川上 舞 福永 美智子 西川 あり 田中 裕子

各ページの縦帯の柄は八尾市の伝統文化である河内木綿の「二様菊花唐草文」の図柄をモチーフにしています。

やおい市議会だより vol.328
令和7年1月20日発行

編集・発行：八尾市議会 〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号
電話：924-3895 / FAX：922-4968 / Email：sigikajimukyoku@city.yao.osaka.jp

刊行物番号
R6-5